

## 中小企業の DX 推進に関する調査

(2025年)

(アンケート調査)

2026.2.6

(独) 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課



### 【調査結果のポイント】

- ・DXに「既に取り組んでいる」「取組みを検討している」企業は39.1%で、前回調査(2024年12月)とほぼ横ばい。
- ・DXに「既に取り組んでいる」企業の進捗状況は、デジタルイゼーション(「個別の業務や製造等のプロセスのデジタル化を進めている」)の割合が増加。
- ・DXの取組みとして「AIの活用」が28.4%と、前回調査に比べて14.1ポイント上回る大幅増加。
- ・DX推進に当たってIT・DX推進に関する専門人材の不足や予算の確保が課題。

※前回調査結果(2024年12月公表) URL: [https://www.smrj.go.jp/research\\_case/research/questionnaire/index.html](https://www.smrj.go.jp/research_case/research/questionnaire/index.html)

### (1) 調査概要

- ・調査日時: 2025年12月5日～12月18日
- ・調査方法: Web アンケート
- ・調査対象: 全国の中小企業者等 1,000 社  
(中小企業基本法における中小企業者の定義に基づく)

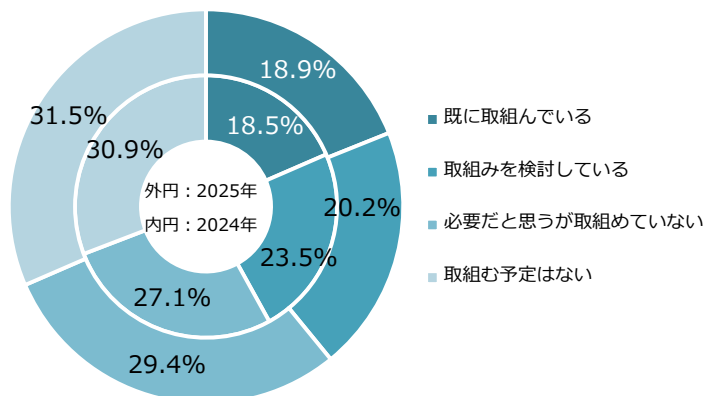
図表1 調査対象業種の構成比

全産業(合計)		回答企業数/構成比(%)	
		1,000	100.0
製造業		500	50.0
非製造業	建設業	100	10.0
	卸売業	100	10.0
	小売業	150	15.0
	情報通信	50	5.0
	サービス業	50	5.0
	宿泊・飲食業	50	5.0
	その他	50	5.0

### (2) DXの取組みは前回調査とほぼ横ばい

DXに「既に取り組んでいる」「取組みを検討している」企業は39.1%で、ほぼ横ばいである。一方、取組む予定はない企業も31.5%存在する(図表2)。

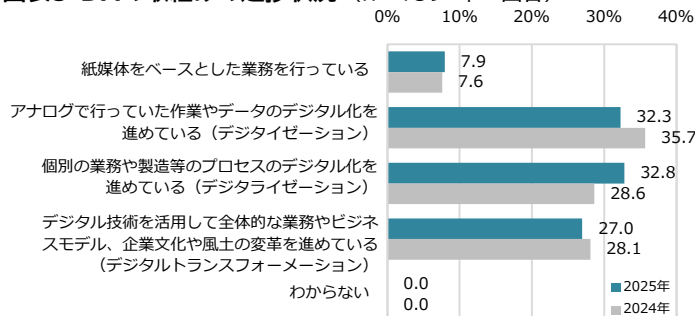
図表2 DXの取組み状況 (n=1,000 単一回答)



### (3) 進捗状況はデジタルイゼーションが増加

DXに「既に取り組んでいる」企業の進捗状況は、デジタルイゼーション(「個別の業務や製造等のプロセスのデジタル化を進めている」)の割合が増加し、首位になっている(図表3)。

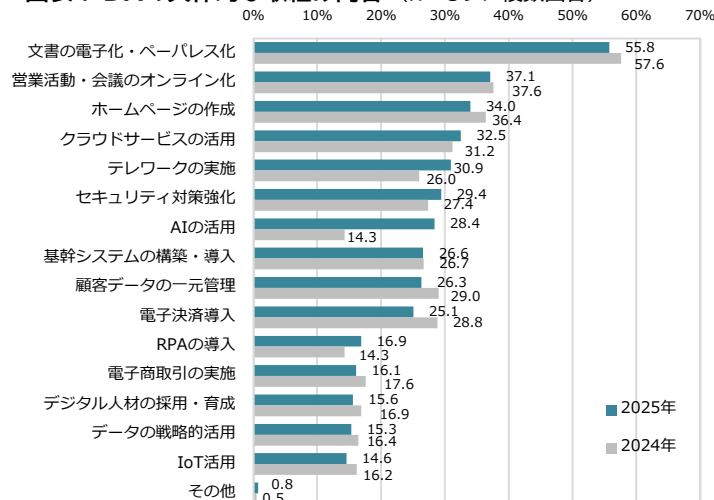
図表3 DXの取組みの進捗状況 (n=189 単一回答)



### (4) DXの具体的な取組みは「AIの活用」が大幅増加

DXに「既に取り組んでいる」「取組みを検討している」企業のうち、具体的な取組み内容として「AIの活用」が28.4%と、前回調査に比べて14.1ポイント上回る大幅増加。「クラウドサービスの活用」「セキュリティ対策強化」「テレワークの実施」「RPAの導入」も増加(図表4)。

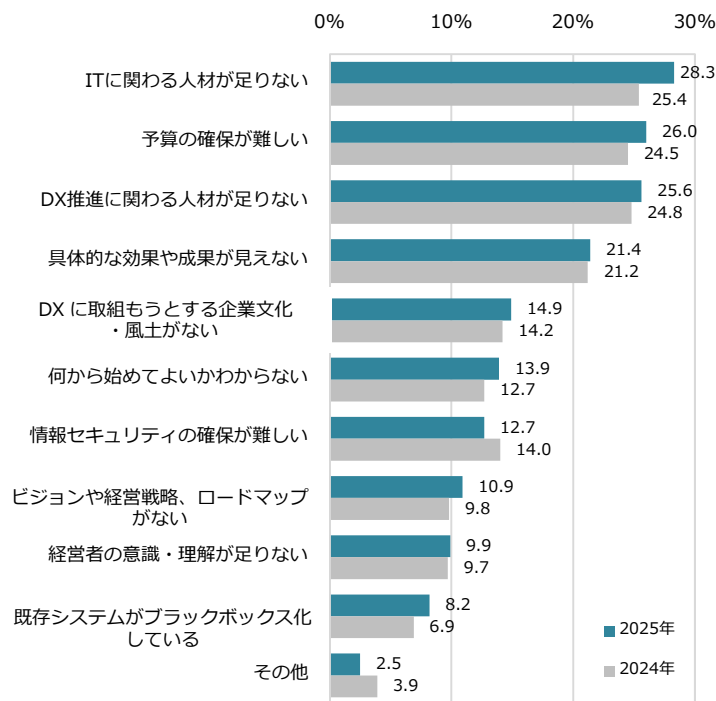
図表4 DXの具体的な取組み内容 (n=391 複数回答)



## (5)DXに取り組むに当たっての課題は、IT・DXに関する専門人材の不足と予算の確保が上位

DXに取り組むに当たっての課題の上位は、「ITに関わる人材が足りない」が28.3%。次いで「予算の確保が難しい」が26.0%、「DX推進に関わる人材が足りない」が25.6%という順となっている(図表5)。

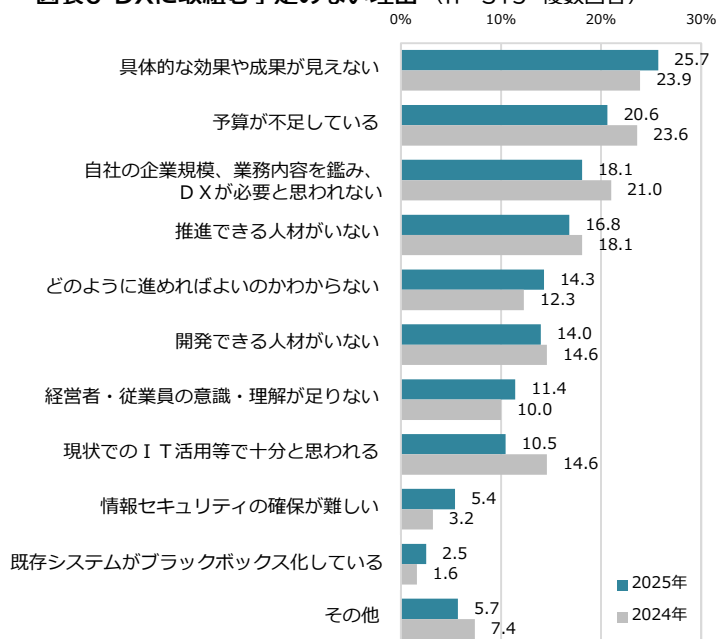
図表5 DXに取り組むに当たっての課題 (n=1,000 複数回答)



## (6)DXに取り組む予定がない企業の理由は、「具体的な効果や成果が見えない」「予算不足」が上位

DXに「取り組む予定はない」と回答した企業の、取り組む予定としない理由は、「具体的な効果や成果が見えない」(25.7%)、「予算が不足している」(20.6%)が上位となっている(図表6)。

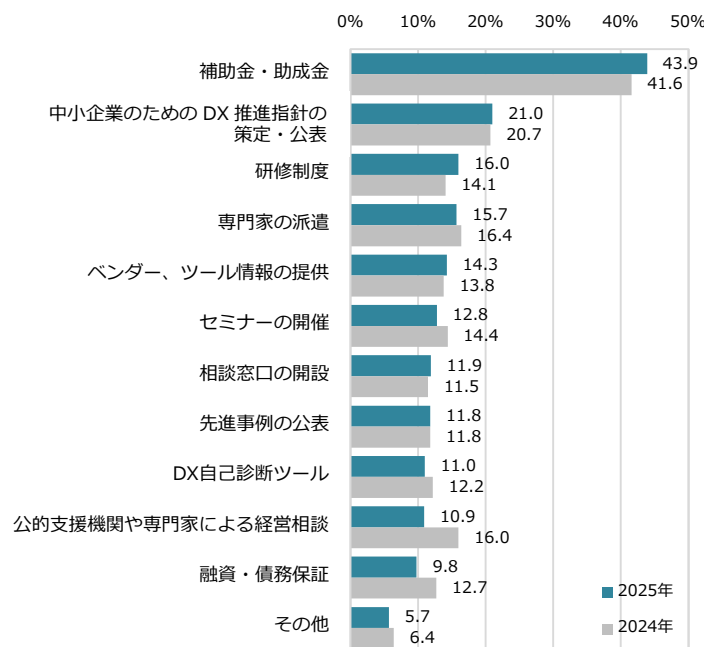
図表6 DXに取り組む予定のない理由 (n=315 複数回答)



## (7)補助金・助成金といった資金支援ニーズ、指針の策定・公表、研修制度のニーズも高く

DXの推進に期待する支援策は、「補助金・助成金」「中小企業のためのDX推進指針の策定・公表」の割合が高い。また「研修制度」「ベンダー、ツール情報の提供」等が前回調査に比べてポイントが増加している(図表7)。

図表7 DXの推進に向けて期待する支援策 (n=1,000 複数回答)



## (8)まとめ

今回の調査結果では、DXに(「既に取り組んでいる」「取り組みを検討している」)企業は39.1%と前回調査とほぼ横ばいであるが、DXの具体的な取り組みとして「AIの活用」が大幅に増加した。

またDXに「既に取り組んでいる」企業の進捗状況においても、デジタルライゼーション(「個別の業務や製造等のプロセスのデジタル化を進めている」)の割合が増加しており、DXの取り組みが高度化している。

一方、課題としては、資金面のほか、IT人材や業務変革を担うDX人材の不足が高まっている。

加えて「具体的な効果や成果が見えない」ことも、DXに取り組む上での課題として浮き彫りになっている。

支援ニーズにおいては、前回調査に比べて「研修制度」「ベンダー、ツール情報の提供」等がポイントを増加させており、こうした支援策を活用してIT・DX人材の育成、費用対効果に見合ったDXに取り組むことを望む経営者の意向が反映されたものと考えられる。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構  
広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課  
担当者 : 津田、麻野、吉見  
Email : [chosa@smri.go.jp](mailto:chosa@smri.go.jp)